

4月23日(月)

砂 漠 の 中 で

聖書朗読 ヤコブ 1:2～12

まことに主はシオンを慰め、そのすべての廃墟を慰めて、その荒野をエデンのようにし、その砂漠を主の園のようにする。
イザヤ書 51:3

私の両親は、人生の大半をオハイオ州の農場で過ごしました。そこは、成長する農作物や草や木に囲まれていました。しかし、仕事からリタイアした後、両親はアリゾナ州の砂漠に引っ越すことに決めました。

アリゾナ州に彼らを訪ねたとき、私は砂漠の荒涼さに心を打たれました。私が目にしたのは、砂、サボテン、そして岩山だけでした。オハイオの緑が懐かしくなり、私は両親がこの土地の何に心を惹かれたのか理解できませんでした。

しかしながら、私は両親が何をそこまで気に入ったのか見届けるつもりでした。私が徐々に植物や野生生物の様々な種類の違いに気がつくにつれて、それらの持つ素晴らしさがわかるようになりました。山々を見た後に、それらが太陽の落とした影を映して色を変えるのを素晴らしいと思うようになりました。時がたつにつれて、砂漠には私がそれまで慣れ親しんでいたとは異なる美が存在するのに気がつきました。

人生が不毛に思えるときに、私はこの砂漠で学んだレッスンを思い出し、その明白ではない美を探します。

聖 歌 195

祈 り お父様。私の目を開けて、いかなる状況の内にも与えられているあなたの備えを見ることができるようになしてください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ロザリー・ヨアカム

オハイオ州 スプリングボーロー

(翻訳: 斉藤雅子 2004 年)

今日 の 力

2018 年 4 月 23 日～4 月 29 日

事情により、以前に配布されたものから再編集してお届けします。

翻訳者はそれぞれの日に記載してあります。

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

編集 岩 田 欣 三

御 茶 の 水 キ リ ス ト の 教 会

4月24日(火)

丘 に 登 る

聖書朗読 I コリント 2:6～16

しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。ローマ 8:37

一人で夜明けのハイキングに出かけた時のことです。険しい坂を目の前にして、私は深く息を吸い込み、この坂もやがては下り坂になるのだと思いながら、登り始めました。

頂上に向かう最後の険しい道を重い足取りで登っていたとき、すばらしい眺めに思わず息をのみました。目の前に起伏に富んだケンタッキーの丘が広がり、その頂は紅葉し始めた木々で覆われ、丘と丘の間の谷間からは霧の層が立ち込めていました。太陽が、一番遠くの丘の向こうからちょうど昇りかけ、日の光がオレンジ、黄色、そして紅葉前の緑々した葉を照らしていました。「神様、あなたは本当に素晴らしいお方です。一生懸命に丘を登ったことの報いとして、このような輝かしい景色を与えてくださるなんて」と私はハアハアと息を切らしながら言いました。

丘を下る途中、これまでの人生における険しい上り坂のときを思わずにはいられませんでした。自分ではどうすることもできない試練のときもありました。でも、神様が助けてくださり、険しい上り坂は征服されました。それだけではなく、神様は忍耐、我慢、粘り強さ、そして信仰を増してくださり、自分を許し、人を許す心という報いもいただきました。同じような試練に直面している人を思いやる心も与えられました。自分の経験を通し、また聖書を通して、どのような山も全能の神のお助けにより、登ることができることを知るのでした。

讃美歌 276

祈り ご在天のお父様。大きな障害に直面したときも、また小さな障害に直面したときも、あなたの方を向くことができますように助けてください。絶えざる導きを感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

アニータ・ブラッドリー・ボイド

ケンタッキー州 フォートトーマス

(翻訳:村越克子 2004年)

4月25日(水)

いつも誰かが見えています

聖書朗読 II コリント 6:3～13

ただ、キリストの福音にふさわしく生活しなさい。ピリピ 1:27

今日、私は「典型的な月曜日」を過ごしました。寝坊して、事務所に遅刻し、クレジットカードの請求書の間違いを正すのに 30 分もかかってしまいました。忙しいスケジュールでつまっているのに、こんなことをしていられません。ランチにはまた厄介なことが起こりました。急いでいたので、ファーストフードの店に入り注文しましたが、後で、店員がおつりをくれなかったのに気がつき、つり銭をもらいに、もう一度店に戻らなければならなかったのです。

私たちはこのようにして日々を送っているのではないのでしょうか？ こんな時、パウロはどのような事が起こっても、自分の伝道活動に支障をきたさなかったことを考えると、私は勇気づけられます。どんな挫折の中にあっても、パウロは自分の行いに心をくばっていたので、人々に信用され、福音を宣べ伝えることができたのです。キリストから任命された大使として、私たちは、いつも、自分が宣べ伝えているお方のことを心におかなければなりません。

ありがたいことに、神様は「憂鬱な月曜日」にも、私が忍耐と自制ができるように守ってくださいました。月曜日にどんなことが起こっても、あなたのとる行動が証しとなっているのです。

讃美歌 ともにうたおう 24

祈り 愛する主よ。自分の周りにいる人々に優しい態度がとれるように導いてください。そして、私の行動が、私がそのお名前を身にまもっているお方を映し出すように導いてください。イエス・キリストの良き知らせを通していただくあなたの赦しに感謝します。アーメン。

スコット ハゲンセン

カルフォルニア州 バイサリア

(翻訳:山形静代 2004 年)

4月26日（木）

必要なものは愛だけ

聖書朗読 イザヤ書 44：1～8

あなたを造り、あなたを母の胎内にいる時から形造って、あなたを助ける主はこう仰せられる。「恐れるな。わたしのしもべヤコブ、わたしの選んだエシュルンよ。
イザヤ書 44：2

恐怖。気をつけていないと、心が恐怖に奪われてしまいます。恐怖によって、神や周りの人々との関係がおかしくなることがあります。恐怖は、不安や自分勝手な気持ちから芽生えます。

愛することで恐怖に打ち勝つことができます。
人の態度や言葉は、すべて恐怖か愛のいずれかに由来します。つまり、自分勝手な気持ちか他人を思う気持ちかが表れます。人は、恐れる時、自分のことしか見えません。愛する時は他人のことを見えています。

神の永遠の真実に目を向けることで、人は自分の殻から抜け出すことができます。パウロが言うように、主は近いので、心を天のことに向けるべきです(ピリピ 4：4～8)。このとおりにすれば、自分勝手な気持ちは他人を思う気持ちに変わり、恐怖は愛に変わります。

「恐れるな」という言葉は、聖書に366回書いてあります。つまり、神は1年中1日1回「恐れるな」と語りかけ、さらにもう1回未来に向けて語りかけています。安心してください。愛によってどんなことにも打ち勝ちます。

恐怖とは
暗く、未知で、
取付き、麻痺させ、気力を失わせます。
真実で、自由をもたらすのは、
愛です。

讃美歌 526

祈り 天のお父様。私に必要なのはお父様だけです。
イエスの御名により。アーメン。

サンディ・ドーリティ
カナダ アルバータ州 カルガリー
(翻訳: 泉田和彦 2004 年)

4月27日（金）

正しい判断

聖書朗読 詩篇 119:97～105

あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。 詩篇 119:105

最近、我が家では大学生の娘の通学のために車を購入しました。その車は彼女のお気に入りである明るい黄色です。私は夏の間その車で通勤していましたが、新学期が近づき、娘がその車を運転して通学できるようにする必要が出てきました。

月曜日に今までと違う車で出勤し、仕事を始めてから2時間ほど経ったところで、電話が鳴りました。電話の相手は「やっと出社したのか」と言います。私が今日はすでに2時間くらい仕事をしていることを相手に話すと、いらいらした調子で私に向かって、30分前に駐車場に行ったとき、私の黄色い車がなかったから、その場から戻ってきてしまったと言うのです。その人は、誤った仮定によって行動をしたのです。

その昔、人々はたくさんのしるしや奇跡を見ても、イエス様を神の子であると認めませんでした。使徒たちに宣べ伝えられ、そのみことばを聞いていてもそれが彼らにとって真の言葉として彼らの心に受け入れられることはありませんでした。彼らは神の御国に関して誤った仮定のもとに行動をしたのです。

みことばは私たちが心を開き、言葉にしたときに生きたものとなるのです。

讃美歌

188

祈り

偉大なる神よ。私たちは時にあなたの導く道とは違う道に進んでしまうことがあります。みことばが私たちの道を照らしてくださいように。
イエス様の御名により。アーメン。

ピート・ナッシュ
オハイオ州 ワォレン
(翻訳: 田嶋雅子 2004 年)

4月28日 (土)

親 切 心 に 応 え る

聖書朗読 II歴代誌 32:22~29

ところが、ヒゼキヤは、自分に与えられた恵みにしたがって報いようとせず、かえってその心を高ぶらせた。そこで、彼の上に、また、ユダとエルサレムの上に御怒りが下った。
II歴代誌 32:25

ヒゼキヤは病気が進行し、もう長くは生きられないと知って、激しく嘆き悲しみ、祈りました。主は彼の真剣な願いを受け入れ、その後15年間彼を生き長らえさせました (II列王記 20:1-11)。

神はこの良い王に貴重なご褒美をさずけた後、彼からどれほどの感謝を受けたのでしょうか。信じられないけれど、聖書には明かにこう書いてあります。『ヒゼキヤは自分に与えられた恵みにしたがって報いようとせず、・・・』 (II歴代誌 32:25)

神様は私達に対し、自分の子どものように本当に良くしてくださいます。神様はたいへん慈悲深く、私達のたくさんの願いことをよこんで聞いてくださっています。私たちがなぐさめられたり、祈りが聞かれて喜びに満たされている時、私達には神様のご親切に対してお応えするチャンスがあるのです。

ヒゼキヤの話は、熱心に祈る気持ちを奮い立たされます。また同時に、私達に多くの恵みをくださる神様に謙虚にお応えすることも、思い出せられるのです。

あなたの人生で次に神の手が働かれていることを感じた時、プライドではなく、神を讃美してその恵みに応えられるように、覚えてください。

讃美歌 507

祈 り 恵み深い父なる神様。あなたがくださる大きなやさしさに対して、正しくおこたえできるように助けてください。私のたくさんの願いをこんなにもよこんで聞いてくださり、ありがとうございます。

イエス様の御名によって。アーメン。

クライド・H・スリンプ

アーカンソー州 コンウエイ

(翻訳:鈴木めぐみ 2004年)

4月29日(日)

「知ること」と「行うこと」

聖書朗読 マタイ 25:31~46

また、みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってはなりません。・・・なすべき正しいことを知っていながら行わないなら、それはその人の罪です。
ヤコブ 1:22, 4:17

聖書は私たちに、飢えている人に食事を与え、裸の人に衣服を与え、そして孤独で病んでいる人のもとを訪れなさい、と言っています。ヤコブはやもめや孤児が困っているときに世話をすることが真の信心だと言っています (ヤコブ 1:27)。

私たちはこの教えに従うか、もしくは関心がないことを認めるか、さらに悪い場合はその教えに反抗するかどれかです。中立の立場はないようです。飢えている人に食事を与える方法はたくさんあるかもしれません。そしてより簡単でもっとよい方法もたくさんあるかもしれません。しかし、それを実行することのみが本当に重要なのです。

善を知りながら、それを行わないのは悪いことです。私たちが真実を知るときがきたとき、それにどのように対処するかを決めなければなりません。真実を知りながらそれを無視するのは何の益になるのでしょうか？

実際は、全てを行うことができる人なんていません。自分の知らないことや、不可能なことをするのは誰も予想してはいません。しかしクリスチャンは人を助けます。私たちは食事を与え、衣服を与え、訪れ、愛し、援助し、そして福音を説きます。それは呼吸するようなものです。それは私たちの使命です。それは全くの真実です。

主よ、私たちがあなたに捧げたものは何でも、

千倍になって返ってきます。

そして、私たちは全てを与えてくださるあなたに

喜んで全てを捧げます。

———クリストファー・ワーズワース

聖 歌 318

祈 り お父様。あなたは御国の民があなたの愛を他の人に明らかにするために、私たちにでもできる簡単なことを教えてください。あなたの御心を行えるようお助けください。

イエス様の御名により。アーメン。

スティーブン・クラーク・ゴード

カリフォルニア州 ブライス

(翻訳:阿部やよい 2004年)